

「紙芝居の名人ベテラン熊木さん」にインタビュー

聞き手：柳生 佳良子

平成22年5月でした、紙芝居との出会い。先輩達の女性の皆さんの後押しの声「やって！私達も応援するから。」と「台本作り、小道具の準備などやってもらい、自分もやらなければの気持ちが強くなって、台本を見ながらではダメ、覚えてやらなければ。」と頑張ってやって来ました。

「八幡堀まつり」に明治橋横の「東屋」での公演が初デビュー。今では学校支援、各種催し・出前上演など多くの活動、そして平松会長さんがYouTubeにも出してくださって「気恥ずかしいです。有りがたいし、嬉しいです。」お陰様で今年で11年となりました。現在は出口さんにリーダーをバトンタッチしまして喜んでます。

＜最後に思う事、願うこと＞

「近江八幡開祖は豊臣秀次です、殺生関白ではないことを、私は紙芝居で訴えて来ました。出来ることならボランティアガイドの皆さんも訴えて欲しいです。賢い人物でありました。」

広報のカメラマンの堀さんと高校が同じ出身であると分かり意気投合して、懐かしく当時の学校を振り返って笑顔で終わることができました。



とってもユーモアなセンスを持つ
熊木さん



八幡堀ほっとたうんクリーン作戦に参加して

～ 今年で30回目 ～

松村 道子

10月2日朝、8時半頃より、日牟礼の参道にクリーン作戦に参加する人が続々と集まりました。これは10月12日に行われる八幡堀祭りを開催するにあたり、八幡堀周辺をきれいにするために、1990年より毎年行われている活動で、今年で30回目を迎えて定着しています。

当日は物産協会関係者の方々、各種団体や企業からの参加もあり、総勢100名近くが八幡堀をきれいにするために集まりました。我が観光ボランティアガイド協会からも23名が参加しました。

9時より作業開始。各自ほうきや・鎌・ゴミ袋を持ち、三々五々移動しました。八幡堀周辺を男性陣にお任せし、私たち女性陣は小幡駐車場の除草作業に向かいました。駐車場の庭も結構草がはえていましたが、おしゃべりしながらも手はきちんと動かし、1時間半ほどで見違えるようにきれいになり、汗もいっぱいかき、腰も痛くなりましたが満足感を味わいました。

10月・11月の観光シーズンを迎える上で、八幡の顔ともいえる小幡駐車場や八幡堀をきれいにするのは大切な事だと思います。今後とも出来るかぎり協力・参加していきたいと思っています。



誰もが汗まみれに
なりながら思う
「八幡堀」を
綺麗にしてお客様
をお迎えしたい

